



# Annual Report 2024

2024年度 年次報告書



SPSグループは SDG s に取り組む  
企業様・行政様と共に活動を推進します

## 私たちの考え

SPSグループのコーポレートスローガンは「**環境と資源を守る**」です。

SPSグループは2018年に70周年を迎え、「廃棄物に対する目線を未来に。」を新たなブランドコンセプトに据えました。「廃棄物を単なる廃棄物として見ていない」「廃棄物活用の無限な可能性に賭けている」「未来の環境と資源は視点と発想から変わる」のメッセージを発信させて頂いております。2030年に向けたSDGsの活動への取り組みが、各企業・地方自治体・個人において活発化してきています。これらの背景からSPSグループでは、優れた技術やノウハウを持つパートナー企業様と一つの共同体として共存共栄していくエコシステム実現を目指し、2020年に「三友環境総合研究所」を立ち上げました。

環境領域には幅広い分野があります。当グループのお取引のある企業様は約4千社（8千事業所）になり、各業界との接点をもっています。当然、お困りごとは様々で、SPSグループは「なんとかしてあげたい」の気持ちで、あらゆる課題に全力で取り組んでいます。これらの課題解決への対応にあたってはパートナー企業様と一緒に取り組むことで解決した事例が多数あります。このような事からも、1+1=2ではなく、1+1が10にも100にもなる取り組みを目指します。「**新しい価値を創造する**」取り組みをパートナー企業様と一緒に実現してまいります。

# 2024年度 活動概要

## SPSグループ トピック①

### 三友プラントサービス代表取締役社長交代 75周年式典の開催

SPSグループは多くの方に支えられ、昨年75周年を迎えました。  
新社長の就任に合わせ、記念式典が開催され、約500名の従業員やOBの方が参加しました。



### SPSグループ再編成

SPSグループでは業務効率化の一環として、組織の再編成を行いました。  
早来工営株式会社の関東地区の収集・運搬・汚染土壌事業を三友プラントサービス株式会社に事業譲渡しました。これに伴い、早来工営株式会社は、本社を現在の神奈川県川崎市より北海道安平町へ移転しました。また、SPSグループの株式会社クリーンネットワークと三友プラントサービス株式会社が合併し、事業を三友プラントサービス株式会社に統合しました。 [詳しくはこちらをクリック（グループ再編ならびに役員新体制のお知らせ）](#)

## SPSグループ トピック②

### 工場見学

SPSグループでは、対面での施設見学とともに三友環境総合研究所HPに掲載されている「FACTORY TOUR」にて工場見学を行っています。  
対面での工場見学についても順次受け入れを行っています。

### 対面・WEB工場見学参加者

対面	WEB
<b>260</b> 団体	<b>88</b> 名

## 資源循環の取り組み①

### 資源循環アプリのサービス展開

SPSグループは自治体様向けサービスとして「資源循環アプリ」を展開しています。本アプリには、カレンダーや4種類の捨てたいごみの検索方法、資源循環を促す機能が掲載されており、日々の生活で発生するごみのソリューションを行っています。本年度は、自治体で取り組んでいる資源循環活動をアプリ内に掲載するなど新たな取り組みも行いました。新規導入自治体として新たに三自治体への導入、2022年からの千葉県東金市・東京都渋谷区に加え、五自治体となりました。来年度は3月に二自治体への導入、また機能拡充として自治体が行うごみ減量のためのプログラムや家庭にある家電や家具などの査定・買取機能を含んだ資源循環促進ツール、粗大ごみ申し込みなどの新たな開発も進めています。

[詳しくはこちらをクリック（資源循環アプリ）](#)

### 2024年度導入自治体

#### 【北海道石狩市】

三友グループが業務委託を受け、運営を行っております「北石狩衛生センター」のある石狩市へ6/1に導入しました。  
12月末現在、登録者数1,900人を超えました。

#### 【京都府木津川市】

8/1にリリースしました。12月末現在、登録者数は300人を超えました。

#### 【秋田県北秋田市】

10/1にリリースしました。12月末現在、登録者数200人を超えました。

※五自治体で約15千人の住民にご利用頂いています。



## 資源循環の取り組み②

SPSグループはアールプラスジャパン（RPJ）の活動の一環として、株式会社ヤクルト本社、サントリーホールディングス株式会社、リスパック株式会社、カルビー株式会社の5社とともに、東京都国立市と将来を担い未来を生きる、次の世代である子どもたちのために、福祉・教育の向上とプラスチック資源循環を図る「国立モデル」の構築を目標に活動を行っています。

### 国立市プラスチック回収実験と講義

3月、6月、9月と計3回にわたり、くにたち福祉会館にて乳酸菌飲料容器や納豆容器、お弁当のフタを回収実験を行いました。また、回収実験当日にはRPJの取り組みや国立市のごみに関する講義、その他にも、参画各社の環境取り組みの紹介をポスターセッションにて行いました。



### 第26回環境フェスタくにたちへの出店

国立市役所のすぐ隣にある谷保第四公園で、株式会社ヤクルト本社、サントリーホールディングス株式会社とともに、RPJの活動内容や国立市のごみ処理現状を紙芝居でご紹介しました。同ブースにて参加してくれた方にその場で乳酸菌飲料を試飲していただき、洗浄、回収を行っていただき、環境取り組みの体験を開催しました。



# 2024年度 活動概要

## 食品リサイクルに関する取り組み

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社とスタートしたコーヒー豆かすの再生利用事業計画（食品リサイクルループ）の取り組みが進化しています。SPSグループが食品リサイクルループ構築に向けたコンサルを行い国へ申請を開始、準備をしている企業が複数社あります。また昨年より地域限定で開始したSAIKAI COFFEE for Office の取り組みが拡大しています。

### ファーマーズ&キッズフェスタ2024へ出展

3月2・3日に代々木公園で開催された「ファーマーズ&キッズフェスタ2024」へスターバックス コーヒー ジャパン 株式会社と株式会社Kalm角山と協働で出展しました。食品リサイクルループの紹介を子供向けワークショップとして紙芝居を行いました。



### コーヒー豆かすリサイクルの実証試験

食品リサイクルループの認定を目指し、実証試験を進めています。

### 「ガイアの夜明け」にて当社飼料化施設の取材

千葉工場にあるコーヒー豆の飼料化施設が日経スペシャル「ガイアの夜明け」にて放送されました。（11月8日放映）

### 環境省「令和6年度食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業等」に採択

食品関連事業者以外のオフィスなどから排出されるコーヒー豆かすの資源循環スキーム SAIKAI COFFEE for office が、環境省の「令和6年度食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業等」に採択されました。



[詳しくはクリック（渋谷区食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業等に採択のお知らせ）](#)

### SAIKAI COFFEE for Office説明会・講演会の開催

さがみはらSDGsパートナー企業に向けた SAIKAI COFFEE for Office の説明会をWEBにて行いました。

SAIKAI COFFEE for Office の導入企業にてSDGs ウィークの一コマとして講演会を行いました。

### コーヒー豆かすリサイクル事業が月刊廃棄物10月号へ掲載

## 相模原市SDGs EXPOにおける パネルディスカッションへの登壇

SDGsの達成に向け先進的に取り組む企業等の、「循環型社会」の実現に向けた取り組みについて、さがみはらSDGsパートナーに登録している企業でパネルディスカッションを行いました。



2月

6月

## 渋谷ふれあい植物センターに 「緑産」マンゴーとライチを納品

SPSグループ 緑産で育てたマンゴーとレイシ(ライチ)を「渋谷区ふれあい植物園」へ納品いたしました。ふれあい植物園のカフェからの豆かすリサイクル（緑産にて堆肥化）も12月から開始しました。



[詳しくはクリック（渋谷区ふれあい植物センターに「緑産」マンゴーとライチ）](#)

8月

9月

## 丸住製紙大江工場が、パルプ工場として 世界初のISCC-CORSIA認証を取得

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術開発機構（以下、NEDO）の委託事業として、非可食バイオマスによるバイオエタノール生産の技術開発を行っております。NEDOの助成事業である「パルプからの国産SAFの一貫生産およびサプライチェーン構築実証事業」において、丸住製紙株式会社大江工場が、世界初のISCC-CORSIA認証を取得しました。

[詳しくはクリック](#)  
（丸住製紙大江工場が、パルプ工場として世界初のISCC-CORSIA認証を取得）

## 相模原市立橋本小学校 SDG'S授業

昨年度に引き続き、神奈川県相模原市の橋本小学校へ「SDGsを学ぶ」のプログラムを相模原市みんなのSDGs推進課、株式会社ヤクルト本社とともに、授業を実施しました。3月迄家庭からの使用済みプラスチックの回収から再製品化に取り組みます。



10月

## Floatmeal株式会社と パートナーシップ提携

Floatmeal株式会社とウキクサの一種である「ウォルフィア」の生産・加工に関するパートナーシップ提携をしました。

[詳しくはクリック（Floatmeal株式会社とパートナーシップ提携）](#)

## 省エネルギー事業の統合と スリーベネフィッツ株式会社のグループ会社化

三友エンテック株式会社の行う省エネ事業をスリーベネフィッツ株式会社へ事業を譲渡するとともに、子会社化しました。SPSグループの省エネルギー事業は、スリーベネフィッツ株式会社へ集約して、より質の高いサービスの提供を目指していきます。

[詳しくはクリック（三友エンテック株式会社の省エネ事業の統合並びにグループ化）](#)

11月

## 「E-VISION2024」発刊

2024年度 環境社会報告書「E-VISION」を発刊。今年も内容・構成・デザイン・イラストまで自社制作しています。

[詳しくはクリック（環境・社会報告書）](#)



## さがみはらゼロカーボンポスターセッション にて講演

相模原市主催の四大学（青山学院大学・麻布大学・国土館大学・桜美林大学）の学生によるポスターセッションにおいてSPSグループが取り組むゼロカーボンに関する講演を行いました。

## 「廃棄物から考えるサーキュラーエコノミー」 講演会実施

食品廃棄物の飼料化における「リサイクルループ」の取り組みや、リサイクルが困難とされる油脂分の高い食品廃棄物のリサイクルなどの飼料化をおこなう株式会社日本フードエコロジーセンターとバイオガス発電に取り組むさがみはらバイオガスパワー株式会社とともに作業風景を Web にて配信しました。講演会には80名以上の方にご参加いただきました。

# 2025年に向けて

## 事業内容から活動計画

商事業業 (卸売・販売企画)	商材販売	<ul style="list-style-type: none"><li>■ SDG s 関連商材の拡充</li><li>■ カーボンニュートラルへ向けた関連商材の拡充</li><li>■ 技術商材を持つパートナー企業の開拓と提携</li></ul>
	リサイクル構築	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 食品リサイクルの循環型の仕組み構築（グループ会社 緑産との連携）</li><li>■ SAIKAI COFFEE for officeのビジネス拡大</li><li>■ 廃プラスチックの循環型の仕組み構築（アールプラスジャパンとの連携）</li></ul>
	システム	<ul style="list-style-type: none"><li>■ OEMシステムの開発と販売（廃棄物トレーサビリティ・資源循環アプリ・統合ファシリティ管理）</li><li>■ 自社内 基幹システム開発と 廃棄物処理業におけるデジタル化推進</li><li>■ 産業廃棄物データプラットフォーム構築に向けた活動開始</li></ul>
コンサルティング	循環型社会の実現へ向けて	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた企業様や自治体様への提案と実行</li><li>■ 自治体への持続可能な廃棄物処理提案活動</li></ul>
	人材	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 環境知識、感度向上に向けたプログラム開発</li><li>■ 安全・衛生などIT技術を使ったプログラム開発</li><li>■ 三友グループ内人材育成</li></ul>
	助成金/補助金 各種申請	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 助成金/補助金 申請手続き支援</li><li>■ 再生利用事業計画（食品リサイクルループ）の申請手続き業務</li><li>■ 各種試験研究 自治体調整</li></ul>
新しい情報	発信・収集	<ul style="list-style-type: none"><li>■ ホームページ、メルマガ、講演会 など拡充</li><li>■ 環境社会報告書などの定期情報発信</li><li>■ WEB/リモート工場見学会の開催</li></ul>
	研究開発 イノベーション	<ul style="list-style-type: none"><li>■ アクセラレータープログラムの推進と実行</li><li>■ 事業化に向けた Research &amp; Development の実行</li><li>■ 新しい技術の発掘や業務提携、出資などの検討と実行</li></ul>

## 会社概要

会社名 株式会社 三友環境総合研究所  
本社所在地 〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台1-8-14  
創立 昭和49年2月18日（※令和1年12月1日 七生総業株式会社より社名変更）  
代表取締役社長 小松 和史  
代表取締役副社長 小松 稔明  
取締役 小松 源  
取締役 林 愛  
執行役員サステナブル・イノベティブ・デザイン事業部長 増田 光彦  
執行役員経営管理部長 原田 益至  
理事 生越 正広（和光テクノサービス株式会社）  
理事 平松 豊一（株式会社ユニオンサービス）  
理事 渡辺 正人（SPEC株式会社）  
理事 田邊 陽介（株式会社環境と開発）  
理事 山本 収三  
アドバイザー 熊倉 良一（一般社団法人バチルス普及推進機構）  
アドバイザー 加藤 英司（株式会社グローウィン・コンサルティング）  
アドバイザー 井ノ瀬里佳（一般社団法人クリーンビューティージャパン）

## お問い合わせ

株式会社 三友環境総合研究所 事務局 増田・浦本・栗原・吉澤・橋本・入口  
【TEL】042-773-1431 【FAX】042-772-3941 【メールアドレス】info@sanyusoken.com